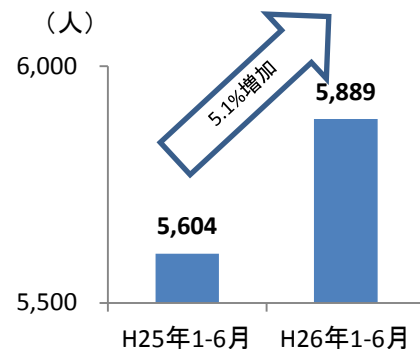
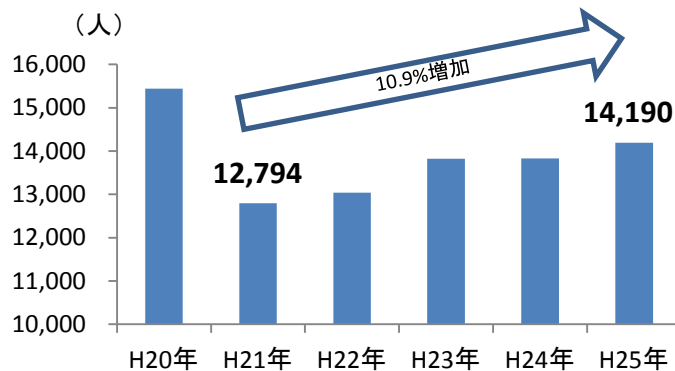


①

陸上貨物運送事業における労働災害の発生状況

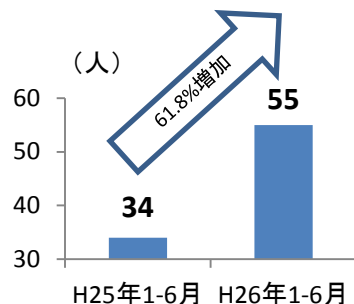
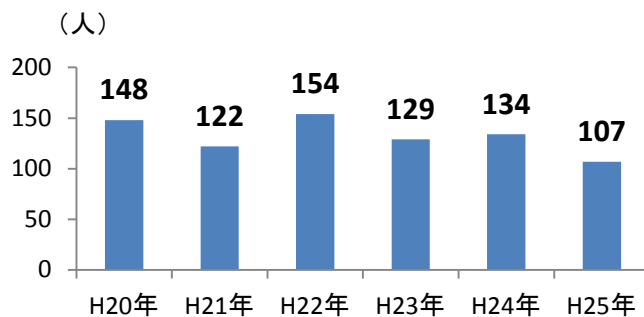
休業4日以上之死傷災害

- 平成21年以降4年連続で増加。
- さらに本年(1~6月)も、対前年同期比**5.1%増**



死亡災害

- 平成25年の死亡災害は関係者の努力により、過去50年間で**最少**の記録。
- しかしながら、本年(1~6月)は、対前年比**61.8%増**とりわけ、交通事故が、**78.9%増**

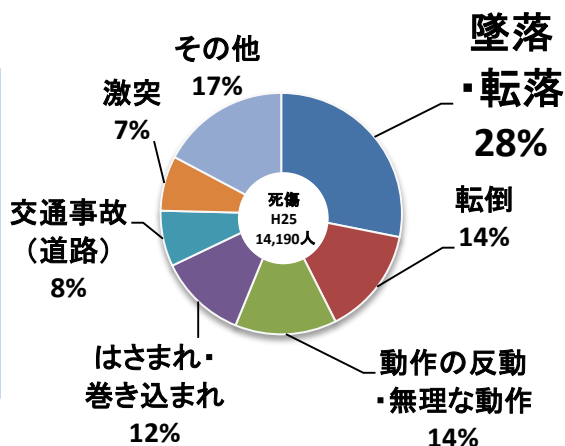


②

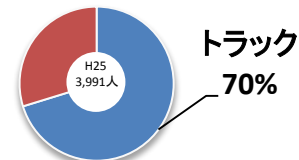
陸上貨物運送事業における労働災害の特徴

事故の型別死傷者数内訳

- 「墜落・転落」が最も多く(28%)、かつ、対前年同期比5.6%増。
- 特に、「墜落・転落」による災害は、トラックからの「墜落・転落」が**7割**を占める。

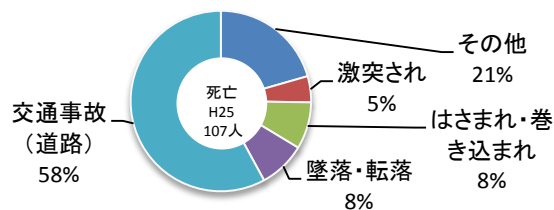


【墜落・転落の内訳】



事故の型別死亡者数内訳

- 「交通事故」による災害が**6割**を占める。



課題

○ 「墜落・転落」、特に、荷積み、荷下ろし時(荷役作業)のトラックからの「墜落」による死傷災害が最も多い。

特に多く発生しているトラックからの「墜落」について集中的な災害防止に取り組む。

荷役作業における安全対策や荷主等の取組を定めた「荷役作業の安全対策ガイドライン」の周知・徹底を図る。

③

陸上貨物運送事業において取り組んでいただきたい事項

各事業場・職場において、以下の取組が行われるよう、事業者や従事者に対して、周知及び啓発をお願いする。

(例:関係者が集まる機会での周知、HPや会報での周知等)

1 荷役作業における「トラックからの墜落災害」の防止

- ・墜落時保護用の保護帽を着用する
- ・荷締め、ラッピング等は、荷上や荷台上で行わず、できる限り地上から、または地上での作業とする
- ・荷台への昇降は、昇降設備を使用する
- ・耐滑性のある靴を使用する
- ・三点確保(手足の4点のうち、どれか1点を動かすときは、必ず残り3点を確保)を実行する

2 「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」の周知・徹底

- ・自主点検の実施

※ 国土交通省の「トラック運送業における書面化推進ガイドライン」も併せて周知